

自立活動指導案

指導者 広島市立〇〇中学校

教諭 〇〇 〇〇

教諭 〇〇 〇〇

1. 日 時 令和元年 12月〇日(〇)
2. 場 所 自閉症・情緒障害特別支援学級
3. 学 年 自閉症・情緒障害等別支援学級
1学年 〇名, 2学年 〇名, 3学年 〇名 計 〇名
4. 単元名 「僕の未来ノートを作ろう」
5. 単元設定の理由

○ 本学級では、主に、国語・数学・英語等を個々の課題に応じて特別支援学級で学習し、その他の教科においては交流及び共同学習として通常の学級で学んでいる。

素直で穏やかな性格の生徒が多く、特別支援学級では仲良く過ごしている。しかし、環境が変わると自分の思いや考えを話すことができなくなったり、相手の話の内容を理解することが難しく的確に答えることが難しくなったりすることがある。人懐っこく、人と関わることが好きな反面、相手の気持ちを気にかけることが難しく、自分の思いだけで接したり、周りの状況や雰囲気を感じることなく思いのままに行動したりすることも少なくない。言葉だけの情報を注意深く、正しく聞き取り、その内容を記憶することが難しい生徒や集中して学習活動に取り組むことが困難な生徒、抽象的な言語理解や概念化に困難さがあるため他者の前での自己表現に自信のない自閉的な傾向の生徒が在籍しており、実態は幅広い。

しかし、どの生徒にも共通して言えるのは、学校生活全般において、他の生徒のことが気にかかり自分のやるべきことに集中して取り組むことが難しい。集中を持続することや課題を達成できなかったことを他人のせいにして、「できない。」と早々にあきらめてしまったりする自信のない様子も見られる。このような様子から、非認知能力(レジリエンス)の低さや自己肯定感が高まっていない状態が推測される。

生徒個々の様子は以下の通りである。

氏名	特 徴	自立活動との関連
A	新しい環境でも積極的に友だちと関わりをもち、人間関係を広げようとする事ができる。気持ちに沿わない場面では、言動のコントロールがしにくくなる事があ る。一度に2つ以上のことを考えたり、処理したりすることが困難である。また、抽 象的な言語理解に課題がある。	3- (2) - (3) - (4) 6- (5)
B	聞いた情報を覚えておいたり実行したりする力が弱く、一度に2つ以上のことを 考えたり、処理したりすることが困難である。また、興味関心があることについて の情報が多く、相手の状況を考えず一方的に会話をすることがある。	3- (2) - (3) - (4) 6- (5)
C	大勢の人前で言語表現を行う経験が少なく、言語表現に対する自信がない。 また、気持ちに沿わないことがあると、言動のコントロールがしにくくなること があり、言葉遣いが乱暴になったり、物に当たったりすることがある。聞いた情報 を覚えておいたり実行したりする力が弱く、一度に2つ以上のことを考えたり、 処理したりすることが困難である。いろいろな言葉は知っているが、その言葉の 意味を正しく理解できていない。	2- (2) 3- (2) - (3) - (4) 6- (5)

D	言葉遣いが乱暴であったり、相手が話をしている途中で別の話題を始めたりすることがある。また、過緊張があり初対面の人の前で自己紹介をすることが苦手である。一度に2つ以上のことを考えたり、処理したりすることが困難である。また、抽象的な言語理解に課題がある。興味関心のあることについての情報が多く、いろいろな言葉を知っているが、その言葉を正しく理解できていないことがあり、抽象的な言語理解も課題がある。	3-(2) -(3) -(4) 6-(2) -(5)
E	いろいろな人との関わりをもちたいと思っている。一方、自信がなく、なかなか自分の思いを伝えることが難しい。抽象的な言語理解に課題があったり、相手の言った言葉通りに理解してしまったりすることがある。決められた内容を自分のペースで行うことができ、ルールに沿った環境で過ごすことを求める。	2-(2) 3-(3) -(4) 6-(5)
F	不登校生徒である。友だちと一緒に楽しく過ごすことはできる。大人に対しては丁寧な言葉遣いで対応できる。楽しくなりすぎるとルールを守ることを忘れてしまい、乱暴な言葉遣いになってしまうことがあり、気の弱い友だちに対して強く当たることもある。	2-(2) 3-(2) -(3) -(4) 6-(5)
G	友だちと一緒に楽しく過ごすことができる。一方、自分が思ったことや感じたことをすぐに口にしてしまうことが多く、相手の気持ちの読み取りが難しい。一度に2つ以上のことを考えたり、処理したりすることが困難で、言葉だけの説明では、聞き逃しが多い。	3-(2) -(4) 6-(2) -(5)

○ 本単元は、特別支援学校小学部・中学部 学習指導要領の自立活動編(平成30年)の目標「個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。」に基づいて設定した。

また、内容については、以下の項目を選定している。

2. 心理的な安定	(2) 状況の理解と変化への対応に関すること。
3. 人間関係の形成	(2) 他者の意図や感情の理解に関すること。 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。 (4) 集団への参加の基礎に関すること。
6. コミュニケーション	(2) 言語の受容と表出に関すること。 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

この単元は、自分のよさを意識するとともに、他者から見た自分のよさに気付くこと、また、過去と現在の自分を比較し、自己の成長を理解することをねらいとしている。

自己のよさを意識し、他者が自分をどのように見ているかということに気付くことができるようになるには、上記の3つの区分の中から必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて、具体的な指導内容を設定することが大切であると考えます。

さらに、このような実態の生徒たちの卒業後を考えたとき、自分の得意なことや不得意なことをその場の状況や相手の思い等を考えながら伝えていく力が必要になってくると考える。そのためにも、自己理解を深め、自身の成長を意識し、自分になりたい将来の姿を考えさせることが重要である。また、肯定的自己表現につながる言語スキルを習得させることも重要であると考えます。

本時は、過去の自分を振り返り、現在の自分の成長を発見する活動である。前時の活動では、ほとんどの生徒は、自分のよさ(長所)に気付くことができたものの、その気付きは、「優しい」・「礼儀正しい」・「努力している」等、部分的で断片的な表現であった。そこで、過去の自分を振り返ることを通して、現在の自分と比較することにより自己の成長を発見することを目標とする。

○ 指導にあたっては、自己理解を促すために、自分の生活や行動を振り返り、課題を意識できるよう、事前

アンケートを行う。また、良質な行動を積み重ね、その学習の振り返りができるように「僕の未来ノート」を作ることを課題とする。

まず、あいさつや聞き方、話し方等学校生活の振り返りを行う。話し合いのスキルにつなげていくために、相手を意識して見て話したり、最後まで聞いたりする必要があるゲームを設定する。その時、相手が話をしよよかったと思う聞き方があることを学ぶことができるようにする。

次に、自己理解を深めるために、自分の長所を考えるとともに、友だちから見た自分の長所を知る学習をする。更に、自分の長所を整理したことを踏まえて、これまでの自分自身を振り返り、現在の自分の成長を考える。

最後に、この中学校生活での自身の成長を、先輩として小学生(特別支援学級在籍児童)に伝える「交流会」の計画を立てる活動を設定する。「交流会」は、小学生の人たちに分かりやすく伝えることや小学生の人たちが中学生になることが楽しみだと思えるように伝えることが目的であることを意識させる。そのような「交流会」にはどのような内容がよいか、どのような台本がよいかを、話し合いのマナーや会の目的を意識させながら考えるようにする。自分たちの母校で、成長を発表したり、中学校生活を伝えたりすることを通して、肯定的評価を実感できるようにしたい。

この一連の経験が、生徒たちの自己肯定感が高められ、さらには、生徒たちの将来の生活に活かされることを期待している。

本時では、「成長」というキーワードを生徒自身の言葉で説明できるよう話し合いを行う。そのイメージを意識させて、過去の自分(小学校の頃)を振り返る。振り返る際の項目は、学習や係活動、部活動、友だち関係、家庭での役割とし、それらを現在の自分と比較することで自己評価を行う。また、社会的な評価として、家庭からのコメントと中学校からのコメントを受け取る場面を設定し、他者評価も意識させる。活動の振り返り場面では、現在の自分の成長から、今後、どのようになりたいか(目指す姿)につなげていきたい。

6. 単元の目標

- 自分の生活や行動を振り返ることを通して、自分らしさ(自分のよさ)や自分の課題を意識し、より良い行動を考え実行できるようになる。
- 他者に分かりやすい内容や伝え方を考え、企画実践することを通して、自己肯定感を高める。

7. 指導計画と評価の計画(12 時間)

時間	学習内容	評価の観点
1	僕の未来ノートについて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後の活動及び目標を理解することができる。 ○ アンケートの内容に答えるとともに、自分について見つめなおすことができる。
2	僕の未来ノート 「聞き方マナーと話し方マナーについて」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人の話を聞くときのマナーや話すときのマナーの必要性を知り、相手が話をしよよかったと思う聞き方や話し方を考えることができる。
2 本時 2/2	僕の未来ノート 「自分の長所・自分の成長」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の長所を意識し、友だちが見た自分の長所を知ることができる。 ○ 過去の自分を振り返り、今の自分と比較することを通して、自分の成長を意識することができる。

6	僕の未来ノート 「交流会を成功させよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の役割を意識し、他者を大切にしたい話し合いを通して、目的を意識した話し合いを行うことができる。 ○ 小学生が、中学校が楽しみだと思えるような交流会になるように考えながら、より良い伝え方(司会進行方法)を考え実践する。
1	僕の未来ノート 「振り返りをしよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちが企画した交流会を通して、自分の伝え方を振り返ることかできる。 ○ 成長を発表したり、中学校生活を伝えたりすることを通して、肯定的評価を実感することができる。

8. 本時の主題と目標

「僕の未来ノート」 ～自分の成長を発見しよう～

本時の目標

- 過去の自分を振り返って、今の自分の成長を発見することができる。
(3.【人】-(3) 自己の理解と行動の調整 に関すること)

9. 学習過程

学習過程	学習活動	学習内容 ・予想される生徒の反応	■指導の工夫・支援●評価 ◇振り返りの場面・活用
導入 1分	1. 本時の活動を知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて：自分の成長を発見しよう</div> 授業を進める上での約束を知る。	○めあてを読む	■今日の学習でポイントとなる約束(1や3の約束)を確認する
解決・探求 20分	2. ルール説明 3. ブレイクワーク 「陰褒め」 (1分×5人) 4. チャレンジワーク 「成長」って、どういうこと？ (5分) 5. チャレンジワークの整理	○ルールのポイント 「バトンを持ったら発表する」 「話をしていない人がゼロ」 ○思いついたことをすぐに言う ○自分からは発言できない ○「体が大きくなること」・「進化する事」・ 「いろいろなことができるようになること」・ 「考えが変わること」等 ○「成長」には ・体の成長 ・何かができるようになる成長 ・考え方や気持ち、心の成長 がある	■話し合いのルールを意識できるようにバトンを活用する。 ■話をしていない友だちが誰かを意識するように声かけをする ■話し合いのルールを意識できるようにバトンを活用する。 ■話をしていない友だちが誰かを意識するように声かけをする ●成長には、いろいろな成長があることに気付くことができたか
深化 20分	6. 過去と現在の自分を比較 7. 家族から見た自分の「成長」を知る 8. 先生から見た自分の「成長」を知る	○「成長」を意識して、自分を振り返る ・すぐにあきらめて勉強しなかったけど、中学生になってあきらめなくなった。 ・けんかが多かったけど、けんかをしなくなった。 ・英語が好きだったけど、嫌いになった。 ○封筒からカードを取り、自分のワークシートにはる。 ○封筒からカードを取り、自分のワークシートにはる	■ワークシート①配布 ■約束②を確認する 恥ずかしがらないことを確認
整理 9分	9. 学習のまとめ	○自己評価 ○振り返り ・自分の成長を確認できた ・家族から見た自分の成長を知ることができて、うれしい	■ワークシート②配布 ◇活動を振り返り感想を記入したワークシートを交換させて交流させる

10. 教室配置

